

(7) 金属製造業

◆ 概要

ここでは、産業中分類の鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業の3業種を合わせて、金属製造業とする。

平成21年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）によると、事業所数は236所で、前年比較では31所減少（対前年増加率△11.6%）している。従業者数は4,367人で、前年比較では730人の減少（同△14.3%）となっている。製造品出荷額等は827億5百万円で、前年比較では32.7%の減少となっている。個別に製造品出荷額等を前年と比較すると、鉄鋼業が40.9%と最も大きく減少しており、次いで非鉄金属製造業が35.5%の減少、金属製品製造業が28.8%の減少となっている。

京都市の製造業に占める金属製造業の割合は、事業所数が8.2%、従業者数は6.6%、製造品出荷額等は4.0%となっている。

平成12年からの推移を見ると、事業所数は減少傾向にあったが、平成20年に20所増と大きく増加したものの、今回再び減少に転じている。従業者数は平成15年から横ばいに推移しており、平成18年に増加したものの、その後は緩やかに減少し、今回で大きく減少している。製造品出荷額等は平成14年以降緩

やかに増加傾向で推移し、平成18年に大きく増加したが、今回大幅に減少した〔表Ⅱ-3-7-1、図Ⅱ-3-7-1〕。

◆ 市内の金属製造業の特色

金属製造業の特徴を業種細分類別で見ると、鉄鋼業では事業所数が12所と少なく、業種も5分類のため金属製造業に占める割合は小さい。

非鉄金属製造業では、事業所数では銅・同合金鋳物製造業（ダイカストを除く）が6所で最も多くなった。従業員数、製造品出荷額等の項目では、他に分類されない非鉄金属製造業が最も多く、製造品出荷額等は非鉄金属製造業全体の53.0%、金属製造業全体の21.2%を占めている。非鉄金属製造業は、他の金属製造業に比べ事業所数が多くはないうえに、鉄鋼業や金属製品製造業と比べて、地元有力企業の存在があるため装置産業としての業種柄、生産設備も整えられていることから労働生産性が比較的高い特徴がある。

金属製品製造業については、製缶板金業が事業所数、従業員数、製造品出荷額等のすべての項目で最も多く、金属製品製造業全体の17.9%、金属製造業全体の9.4%を占めている。製缶板金業の事業所数が金属製造業の中で突出して多いのは、京都市には精密分野を扱う大手、中堅企業が多く、製缶板金業としての下請業者が多数散在していることが挙げられる〔表Ⅱ-3-7-2〕。

表Ⅱ-3-7-1 金属製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移

（単位：所、人、百万円）

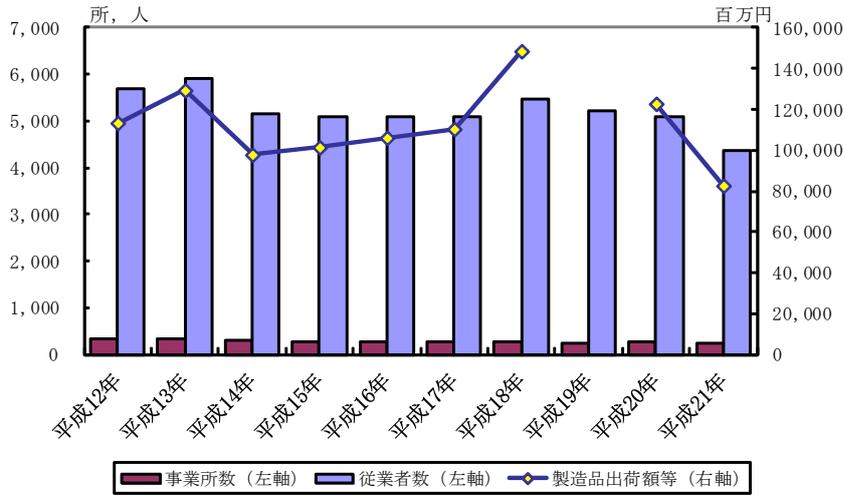
	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
平成12年	343	5,707	113,416
平成13年	330	5,902	129,419
平成14年	288	5,168	97,885
平成15年	279	5,101	101,475
平成16年	272	5,108	106,163
平成17年	273	5,088	110,445
平成18年	258	5,486	148,588
平成19年	247	5,210	χ
平成20年	267	5,097	122,830
平成21年	236	4,367	82,705

資料：京都市総合企画局「平成21年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

注：該当事業所が特定されるおそれのある箇所は、「χ」で表記。

注：平成19年調査で調査項目を変更したため、製造品出荷額等は前回の数値とは接続しない。

図Ⅱ-3-7-1 金属製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



資料：京都市総合企画局「平成21年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

注：平成19年調査で調査項目を変更したため、製造品出荷額等は前回の数値とは接続しない。

表Ⅱ-3-7-2 金属製造業の主な産業（細分類）別事業所数、従業者数、製造品出荷額等

(単位：所，人，百万円，%)

	事業所数		従業者数		製造品出荷額等		
	数	構成比	数	構成比	額	構成比	
金属製造業	236	100.0	4,367	100.0	82,705	100.0	
鉄鋼業	12	5.1	202	4.6	6,446	7.8	
	鉄鋼シャースリット業	5	2.1	33	0.8	623	0.8
	銑鉄鋳物製造業（鋳鉄管，可鍛鋳鉄を除く）	4	1.7	58	1.3	433	0.5
非鉄金属	22	9.3	905	20.7	33,041	40.0	
	他に分類されない非鉄金属製造業	4	1.7	532	12.2	17,520	21.2
	伸銅品製造業	3	1.3	164	3.8	12,149	14.7
金属製品	202	85.6	3,260	74.7	43,218	52.3	
	製缶板金業	54	22.9	691	15.8	7,735	9.4
	ボルト・ナット・リベット・小ねじ・木ねじ等製造業	12	5.1	477	10.9	6,928	8.4
	電気めっき業（表面処理鋼材製造業を除く）	16	6.8	343	7.9	3,825	4.6
	他に分類されない金属製品製造業	10	4.2	145	3.3	3,036	3.7
	金属プレス製品製造業（アルミニウム・合金を除く）	7	3.0	179	4.1	3,024	3.7
	その他の金属表面処理業	9	3.8	254	5.8	2,412	2.9

資料：京都市総合企画局「平成21年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

なお、細分類については主なものを取り上げている。